

「高知県橋梁会平成 22 年度第 3 回研修会」報告

高知県橋梁会理事 森下伸裕

2010 年 12 月 14 日(火)、高知市本町にある高知会館(飛鳥の間)において、土木学会四国支部と高知県橋梁会の共催により、本年度第 3 回の研修会が開催された。

今回の講演については、(株)鉄建ブリッジ製造部長小松範章氏、高知工業高校土木科 3 年の 6 人の生徒、高知工業高等専門学校准教授の横井克則先生、元会計検査院の望月雄二氏の方からとても有意義な講演をしていただいた。研修会には、官公庁、コンサルタント、建設会社から会員、非会員を合わせて 62 名の参加者があった。

研修会後の忘年会には 32 名の参加者があった。

研修会(13:30~17:15)

研修会に先立ち、右城会長から今日の講演内容についての概要説明と、高知県橋梁会が協賛して 11 月 27 日に開催された第 4 回高校生橋梁模型コンテストの報告があった。

また、高知県橋梁会による県内土木技術者の技術力を向上させるための支援活動が評価されて、平成 22 年度の土木学会四国支部地域貢献賞を受賞したという報告があった。

最後に、高知県橋梁会の活動内容はホームページで公開しているのでアクセスして下さいという案内があった。



右城猛会長による挨拶

最初の講演は、(株)鉄建ブリッジ製造部長の小松範章氏により「鋼橋の製作及び検査精度について」と題し、橋梁製作の一連の作業「設計 原寸 けがき 切断 孔あけ 組立 溶接 仮組立」について、写真と図面を交えて専門知識のない他の業種の方

にも分かりやすく説明をしていただいた。

検査精度については、実際の橋を例にして測定項目、基準値、箇所を具体的に説明していただいた。(13:45~14:05)



最初の講演をされる小松範章氏



司会をする森下伸裕理事

2 番目は、高知工業高等学校土木科 3 年生の坂本安隆君、蛭子友晶君、長田光央君、川端文雄君、竹中翔治君、鶴田識二君の 6 名により、「橋梁の老朽化と長寿命化に関する研究」と題する研究発表があ

った。

この研究は、課題研究として清岡純教諭の指導の元に取り組みましたもので、第一コンサルタンツ及び高知県土木部の方よりアドバイスを受け、現地で橋梁の老朽化による変状の状態を調査し取りまとめられたものであった。橋梁の老朽化が身近な問題として感じられるようになり、生徒達にとっても勉強になったことと思われる。

研究発表された6名の生徒さん一人一人に右城会長より記念品が贈呈された。(14:05～14:30)



高知工業高等学校の生徒による研究発表



高知県橋梁会から記念品の贈呈

3番目は、高知工業高等専門学校准教授の横井克則先生により「コンクリート構造物のひび割れについて」と題して講演をしていただいた。

建設工事にとって、避けては通れない問題である「コンクリート構造物のひび割れ」の原因と対策について、最新の研究成果を分かりやすく平易に説明していただいた。(14:30～15:15)



横井克則先生による講演



真剣に聴講する62名。手前は高知工業高等学校清岡純先生と6名の生徒。

4番目の講演は、元会計検査院望月雄二氏による特別講演。「会計検査院と公共工事～私の体験から～」と題し、約90分講演をしていただいた。

望月氏の著書をテキストにして、会計検査院の担当分野と役割等を詳しく説明された後、望月氏が検査を実際に担当されて問題となった事例として、配筋ミス、基礎杭、土圧、支承部、カルバートなどが紹介された。いずれも誤解しやすい事例であり、対処方についても説明をしていただいた。

公共事業に携わる者にとってはとても関心のある内容であったため、参加者は真剣そのものであった。(15:25～17:10)



講演をされる望月雄二氏



吉田幸男副会長による閉会の挨拶



望月氏に指名されて、質問に答える高知工業高校の生徒

忘年会(17:30～19:20)

会場を平安の間に移して恒例の忘年会が開催された。忘年会には、講演をした小松部長、横井先生、望月先生にも出席を頂き、32名の参加者となった。

忘年会では、参加していただいた講師の先生と杯を交わして本音の話をお聞きすることができた。

和気藹々の雰囲気の中、全員が懇親を深めました。



テキストとして使用された望月氏の著書



忘年会に先立ち右城会長から挨拶



研修会の会場の後方に展示された、第4回高校生橋梁模型コンテストに出された高知工業高校土木科の生徒による3つの作品。



乾杯の音頭をとられた村山保名誉会員(左)と中締め音頭をとられたによる西岡南海男顧問